

2015 年度

第 1 回 広島女学院中学高等学校 SGH 研究発表会

主催 広島女学院中学高等学校

研究目標 SGH（スーパーグローバルハイスクール）における

新しい教育の可能性

◆会 期 2015 年 8 月 22 日（土）

◆会 場 広島女学院中学高等学校

〒730-0014 広島市中区上幟町 11-32

TEL 082-228-4131 FAX 082-227-5376

日 程

8 月 22 日（土）

| 10 時 10 分 | | 11 時 | 12 時 | 13 時 | 14 時 20 分 | 15 時 10 分 | 15 時 40 分 | 15 時 30 分 | |
|--------------|----------|--------------------|------------------|---------------------|--------------------------|--------------|---------------------------|--------------|--|
| 受 付 | あい さつ | 基調講演 ゲーンホール | 質 疑 応 答 | 昼 食 高校校舎 1 F | 分科会 I 高校校舎 各会場 | 休 憩 | 分科会 II 高校校舎 各会場 | 閉 会 | |

基 調 講 演（10:10～12:00 ゲーンホール）

演 題 『学習成果の可視化と自己効力感』

講 師 関西国際大学 学長

濱名 篤 先生

講師紹介 濱名篤（関西国際大学学長）

1956 年兵庫県生まれ。上智大学大学院文学研究科社会学専攻博士後期課程修了。博士（社会学）。学校法人濱名学院理事長、関西国際大学学長。主な兼職として、文部科学省中央教育審議会臨時委員、同学校法人運営調査委員、独立行政法人大学入試センター運営審議会委員副議長、国立教育政策研究所評議員など。専門は高等教育論。著書に『初年次教育の現状と未来』（世界思想社、2013 年 1 月）など。

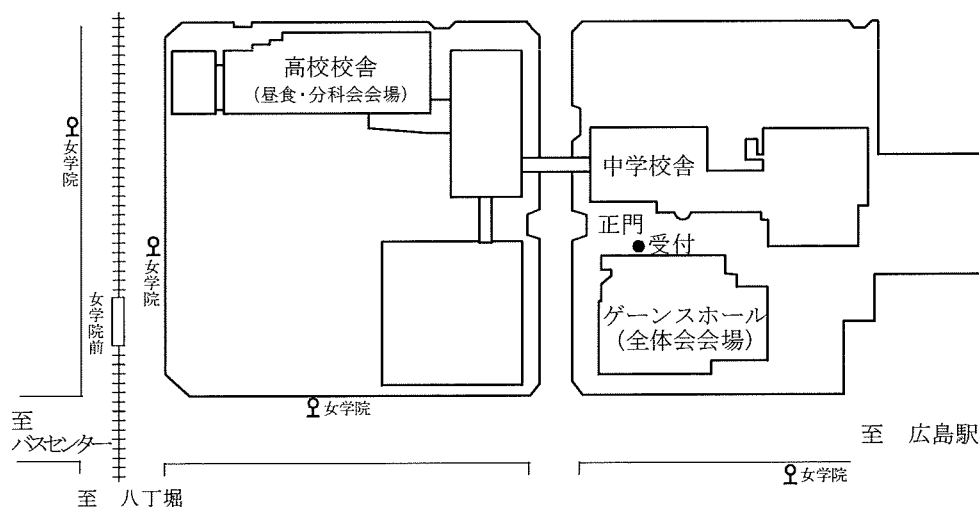
昼食（12：00～13：20 高校校舎1F 103、104、105教室）

分科会Ⅰ & 分科会Ⅱ（13:20～14:10 & 14:40～15:30 各会場）

- ・分科会Ⅰと分科会Ⅱの時間帯で、以下の分科会を2回実施しますので、2種類の分科会にご参加いただけます。
- ・分科会では生徒の発表、教員の発表、質疑応答の構成となっております。

| | | | |
|----------|--|---|--|
| 分科会 ① | CIF、ディベートに関する取り組み (英語による発表) | <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ・モンレー国際大学院主催の Critical Issues Forum(高校生のための核軍縮フォーラム/日米露の高校生参加)の取り組み ・今年度より始めたディベートについて (National Forensic League) | ジェラルド・オサラハン 教諭 高1、高3生徒 |
| 分科会 ② | 女学院のSGH構想 (Peace Studies) について | <ul style="list-style-type: none"> ・中高6カ年のカリキュラムとなっている本校の Peace Studies について、概要紹介 ・昨年度の実践の発表 | 島田 克央 教諭 中3、高2生徒 |
| 分科会 ③ | 国内外の交流事業 (ヒロシマ・アーカイブ、 碑めぐりなどの活動) | <ul style="list-style-type: none"> ・被爆者証言の収録活動、平和公園の案内等を通じた交流の紹介 ・年間100人を超える本校への来訪者との交流の紹介 | 那須 泰 教諭 高2、高3生徒 |
| 分科会 ④ | GI、英語教育関係について (TOEFL、 中1英語特別クラス) | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度開設の講座 Global Issues(高1)について、概要や活動紹介 ・中1英語特別クラスの概要 | 宇津 剛 教諭 常本 奨悟 教諭 高1生徒 |
| 分科会 ⑤ | カンボジア研修 ・ 韓国研修 | <ul style="list-style-type: none"> ・SGH構想のなかの海外研修2つを紹介 ・Peace Studies との関わり、事前・現地学習の取り組みについて | 前本 日向子 教諭 寺本 恵理子 教諭 中3、高2生徒 講評 水本 和実 教授 |
| 分科会 ⑥ | 模擬国連形式の ワークショップ | <ul style="list-style-type: none"> ・高3の Peace Studies で実施している「核軍縮」の模擬国連形式授業。その概要や手法を紹介。 | 安宅 弘展 教諭 ※生徒の発表はありません |
| 分科会 ⑦ | 米国・マウントエニオン大学 短期研修、トビタテ留学 | <ul style="list-style-type: none"> ・米国の大学で実施している短期研修についての紹介 ・5人選ばれたトビタテ留学について、帰国生徒の報告と指導過程の紹介 | 野中 理恵 教諭 里田 幸子 教諭 高2生徒 講評 佐伯 一行 氏 |

<会場案内図>



講師紹介

佐伯一行（日本英語検定協会アドバイザー）

1954年広島県生まれ。京都外国語大学専攻科修了。公立中学に2年間勤務後、(株)ソフィアアカデミー（現在は(株)ディー・エイチ・シー）を設立、代表取締役を務める。1998年、財団法人（現在は公益財団法人）日本英語検定協会 実施委員に就任後、顧問（アドバイザー）に就任。全国の小・中・高校、大学の教育現場で英検主催の研究会やセミナーなどを企画、実施。2003年藤原和博氏が杉並区和田中の校長に就任後、運営協議会のメンバー。教育再生会議や中央教育審議会にオブザーバーとして参加。海外（アメリカ、イギリス、フィンランド、中国など）の教育視察や講演会を企画、実施。2007年より広島文化学園大学 非常勤講師。

水本和実（広島市立大学広島平和研究所副所長・教授）

1957年広島県生まれ。東京大学法学部卒業。朝日新聞社入社。社内留学制度により米国タフツ大学フレッチャー法律外交大学院博士課程に入学し、M.A.L.D 法律外交修士号取得。社会部、外報部、ロサンゼルス支局長を経て、朝日新聞退職後、1998年に広島市立大学広島平和研究所准教授。2010年、同研究所教授・副所長。国際政治・国際関係論が専門。著書『核は廃絶できるか―核拡散10年の動向と論調』（法律文化社、2009年）など。

◆参加申込方法

別紙参加申込書にご記入の上、Faxにて2015年8月18日(火)必着でお申込みください。
申込先：広島女学院中学高等学校 Fax 082-227-5376

◆参加確認証

申込手続きが完了しましたら参加確認証を各個人宛にお送りします。研究発表会当日、参加確認証を受付に提示の上、資料を受け取っていただきます。欠席される場合はご連絡ください。

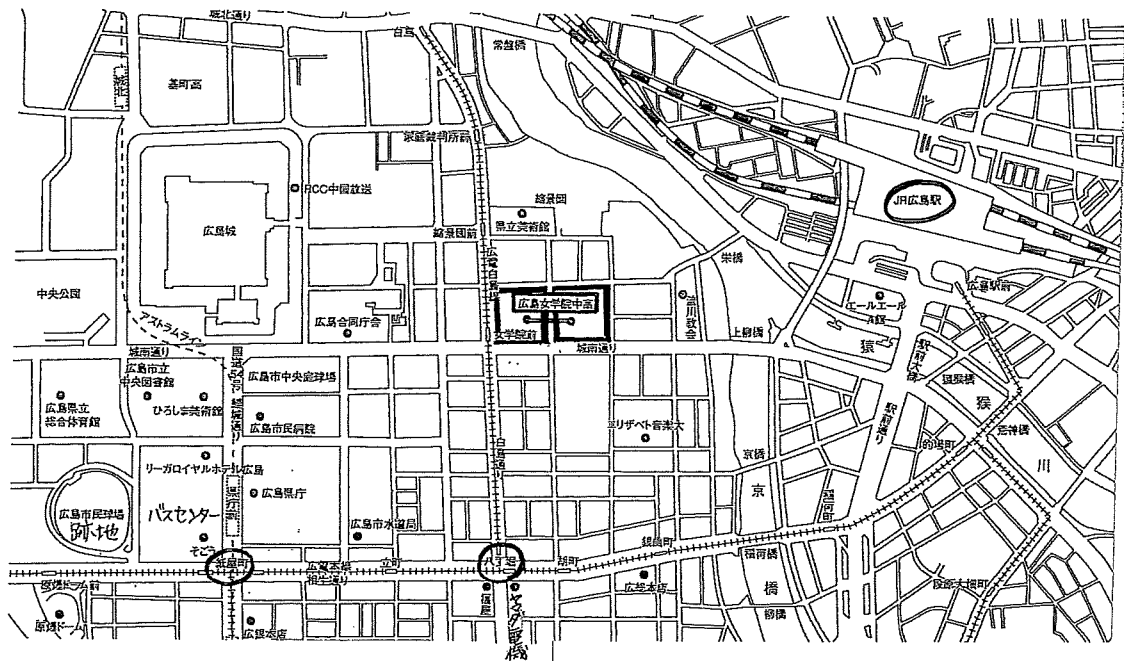
◆会場への交通、宿泊について

駐車スペースがありませんので、公共の交通機関をご利用ください。
 なお、宿泊の手配は行っておりませんので、必要な方は各自でお願いします。



JR広島駅から徒歩12分・広島バスセンターから徒歩15分

<詳細地図>



【JR 広島駅より】

- ・徒歩 約 12 分
- ・タクシー 約 5 分
- ・市内電車
「胡町」下車、徒歩 約 7 分 「女学院前」下車、徒歩 約 1 分
- ・バス
「女学院前」、「縮景園前」下車、徒歩 約 1 分
(広島駅南口より 広島バス、広電バス、
広島交通、JR バス)
- 「合同庁舎入口」下車、徒歩 約 5 分
(広電バス 6 号牛田・江波線)

【八丁堀方面より】

- ・三越方面より北へ徒歩 約 7 分
- ・市内電車 白島線「女学院前」下車、徒歩 約 1 分
- ・バス
「女学院前」下車、徒歩 約 1 分
(広島バス 26 号旭町線、広電バス 12 号
東浄小-仁保沖町線)

【バスセンター/紙屋町方面より】

- ・徒歩 約 15 分
- ・タクシー 約 5 分
- ・バス
「女学院前」下車、徒歩 約 1 分
(広島バス、広電バス、広島交通、JR バス)

第 1 回 広島女学院中学高等学校 SGH 研究発表会 申込書

Fax: 082-227-5376

| | | |
|-------|---|----------|
| お名前 | フリガナ | |
| 所属団体名 | | |
| ご住所 | (職場・自宅 どちらかを○で囲んでください) ※送付物はご記入の住所に送付いたします。 〒 — | |
| ご連絡先 | 電 話 : () — F a x : () — | 携帯電話 — — |
| Eメール | | |

| 参加を希望する分科会 (下の表を参照し番号をご記入ください) | | | 興味ある内容、質問したい事柄 |
|-----------------------------------|--------|--------|----------------|
| 分科会 I (13:20~ 14:10) | 第 1 希望 | 第 2 希望 | |
| 分科会 II (14:40~15:30) | 第 1 希望 | 第 2 希望 | |



番号をご記入ください。

| | |
|---|------------------------------------|
| ① | CIF、ディベートに関する取組み (英語による発表) |
| ② | 女学院のSGH構想(Peace Studies) について |
| ③ | 国内外の交流事業(ヒロシマ・ アーカイブ、碑めぐりなどの活動) |
| ④ | GI 英語教育関係について(TOEFL、 中1英語特別クラス) |
| ⑤ | カンボジア研修・韓国研修 |
| ⑥ | 模擬国連形式のワークショップ (※生徒による発表はありません) |
| ⑦ | 米国・マウントエリカ大学短期研修、 トビタテ留学 |

<お申し込みにあたっての注意>

※分科会への割り振りは、希望を勧案の上、本校で行
わせていただきます

※会場の都合上、希望の分科会へ
参加できない場合があります